


特定非営利活動法人 日本免疫学会  
 平成 29 年度 前期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award  
 研究発表報告書

申請者氏名	高野 智嗣	会員番号	34282	
申請者の所属・職名	九州大学 医学系学府 医科学博士専攻 (生体防御医学研究所 分子免疫学分野)			
出席会議名	2017 ATS International Conference			
発表論文タイトル	C-type lectin Mincle recognizes glucosyl-diacylglycerol of Streptococcus pneumoniae and plays a protective role in pneumococcal pneumonia			

実施結果:

この度は Tadamitsu Kishimoto International Travel Award に選出して頂き誠に有難うございました。私は当支援の下、2017 年5月 21 日より24日までの間、アメリカ合衆国ワシントン D.C.にて開催された ATS International Conference に参加させて頂きました。本学会では腫瘍、感染症、間質性肺炎、閉塞性肺疾患といった呼吸器系疾患全般に関して基礎研究から治療に至るまで幅広いテーマに関して議論がかわされていきました。また、開催地が NIH のお膝元ということもあってかモーニングセッションでは行政、疫学などを含む医療問題に関する話も聞くこともできました。特に、結核、HIV などの感染症に関して日本と疫学背景が大きく異なる世界全体においてどのようなことが具体的に問題になり、どのような対応が考えられているのかを直に聞くことができ、今後の研究テーマを考える上で知見を拓けることができたと感じています。

私は肺炎球菌感染における C 型レクチン受容体の寄与に関してポスターディスカッションセッションで発表させて頂きました。2 時間程のポスタープレゼンテーションでは海外の研究者とじっくり意見交換することができ、自分では考えつかなかったアイデアを頂きました。また、その後に座長主導のディスカッションセッションがあり、ネイティブスピーカーの英語を聞きとるのに苦労しましたが、そこも含めて非常に良い経験が出来たと感じています。

同世代の海外の研究者、共同研究者とのディスカッションや、海外で長期間研究されている先輩と偶然再開し話をする時間も持つことができ、大変刺激になるとともに自分の将来に考える良い機会にもなりました。最後に、このような素晴らしい機会を与えて下さった岸本忠三先生および選考委員の先生方、また私を推薦して下さいました山崎晶先生に厚く御礼申し上げます。